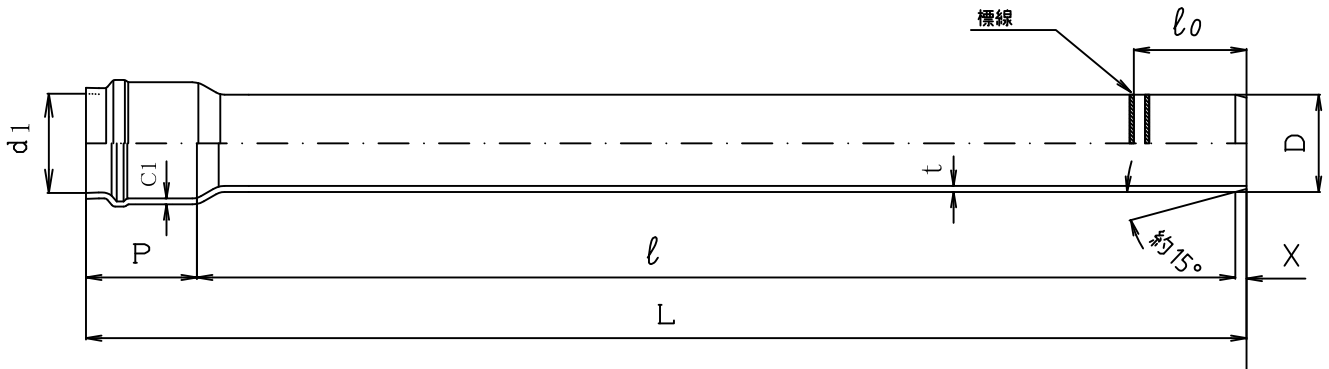


水道用ゴム輪硬質ポリ塩化ビニル管 (JWWA K 129、AS 33)

水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 (VP RR II)

水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP RR II)



単位: mm

呼び径	挿し口及び直管部							受口部				
	外径 D			厚さ t		面取り幅 X	標準位置 l_0	内径 d_1			厚さ C_1 (最小)	
	基本寸法	最大最小外径許容差	平均外径許容差	基本寸法	許容差			基本寸法	最大最小内径許容差	平均内径許容差		
50	60.0	±0.5	±0.2	4.5	±0.4	8	105	60.9	±0.9	±0.6	4.1	
75	89.0	±0.5	±0.3	5.9	±0.4	11	120	90.2	±1.2	±0.7	6.0	
100	114.0	±0.6	±0.4	7.1	±0.5	13	132	115.3	±1.2	±0.7	7.6	
● 125	140.0	±0.8	±0.5	7.5	±0.5	14	138	141.4	±1.4	±0.8	7.8	
150	165.0	±1.0	±0.6	9.6	±0.7	18	152	166.6	±1.4	±0.8	10.6	

呼び径	受口部		有効長 l	全長 L	許容差	参考質量 (kg/本)	
	受口深さ P	許容差				VP	HIVP
	基本寸法						
50	110	±5	5000	5118	+30 -10	5.8	5.7
75	120	±5	5000	5131		11.5	11.3
100	130	±5	5000	5143		17.9	17.5
● 125	135	±5	5000	5149		23.5	23.0
150	145	±5	5000	5163		35.2	34.5

- 備考: 1. 最大・最小外径の許容差とは、任意断面における外径の測定値の最大値及び最小値(最大・最小外径)と、基本寸法との差をいう。
2. 平均外径の許容差とは、任意断面における円周の測定値を円周率3.142で除した値、又は相互に等間隔な2方向の外径の測定値の平均値(平均外径)と、基本寸法との差をいう。
3. 最大・最小内径の許容差とは、任意断面における内径測定値の最大値又は最小値(最大・最小内径)と、基本寸法との差をいう。
4. 平均内径の許容差とは、任意断面における相互に等間隔な2方向の内径測定値の算術平均値と基本寸法の差をいう。
5. 参考質量は、比重を1.43(HIは比重を1.40)として計算したものであり、参考のために示すものであって、規格の一部ではない。
6. 受渡当事者間の協定による場合は、全長(L)及び有効長(l)はその他の長さであってもよい。
7. ● 印は日本水道協会より団体規格として承認を得た塩化ビニル管継手協会規格(AS)を示す

品名	水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管	略号	VPRR II
	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管		HIVP RR II
図番	W - PI - VPRR - 01	制定	2001. 9. 1
		改定	2015. 8. 20
信越ポリマー株式会社			